TAKIZUMI

LEDシーリングライト

取扱説明書

GWL12R0040202

保証書添付 **保管用**

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番　EX12040

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

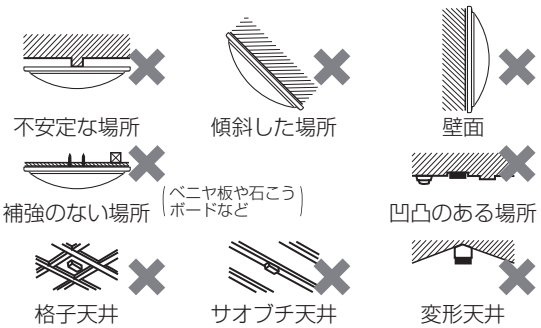
⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



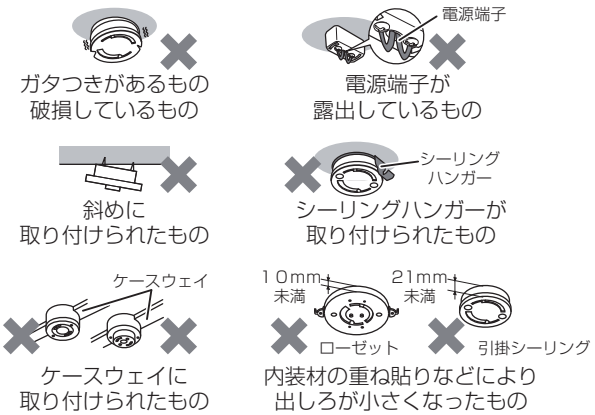
◎この器具は水平天井専用です。

■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



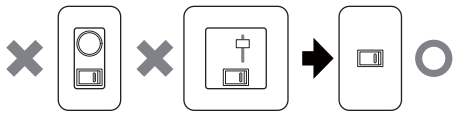
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください。）
http://www.takizumi-denki.com/safety/anzen_check_seat_jyuutaku.pdf

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

必ず守る

●セードなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

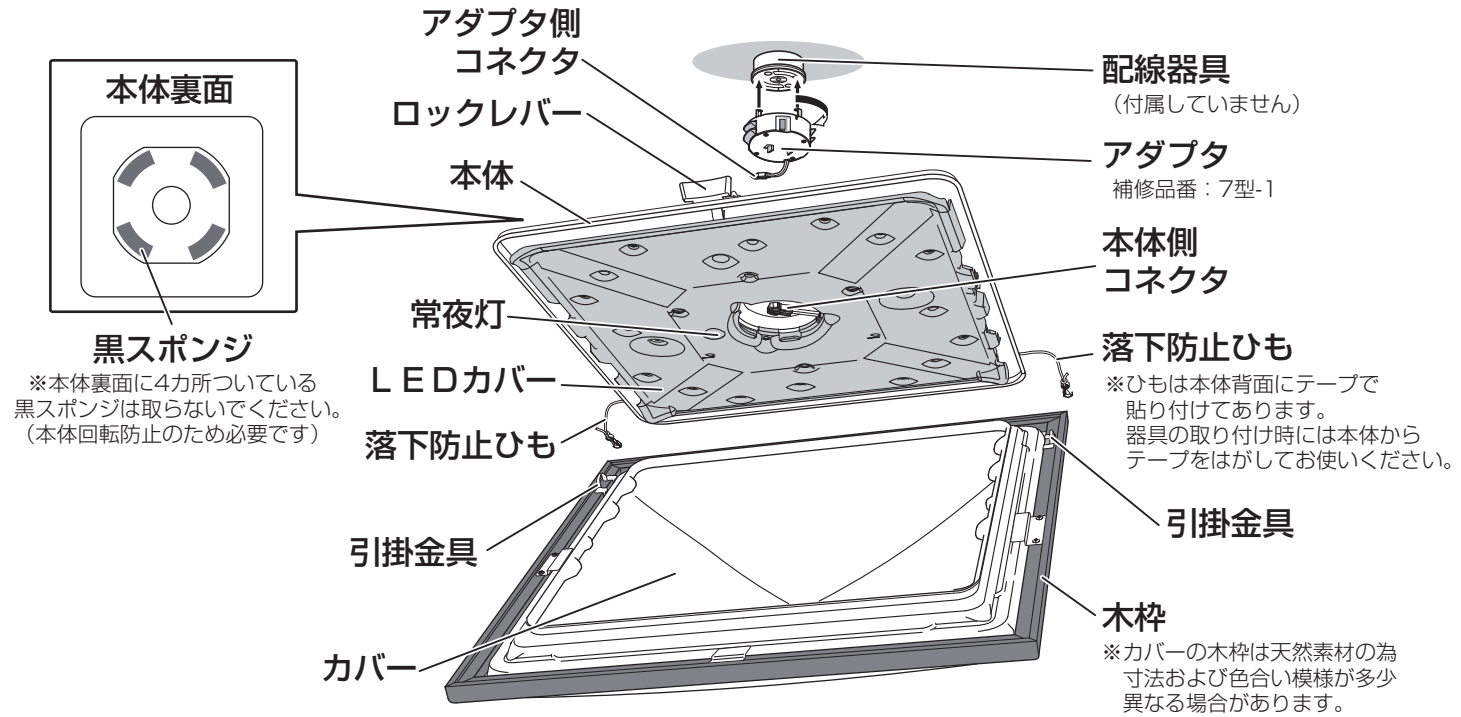
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

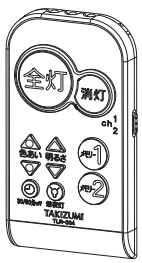
【各部のなまえと付属部品】

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



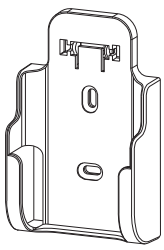
リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-004



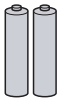
※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

リモコンケース



木ネジ
2個

単4形
乾電池
2個



【照明器具を取り付ける】

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。
（一部姿図を省略しております。）

1 天井についている配線器具を確認する。

※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

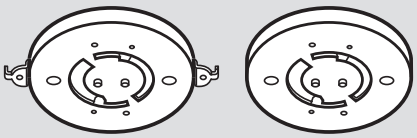
下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（工事には資格が必要です。）

天井からの出しろが22mmの配線器具

角型引掛シーリング　丸型引掛シーリング　丸型フル引掛シーリング　フル引掛ローゼット

天井からの出しろが11mmの配線器具



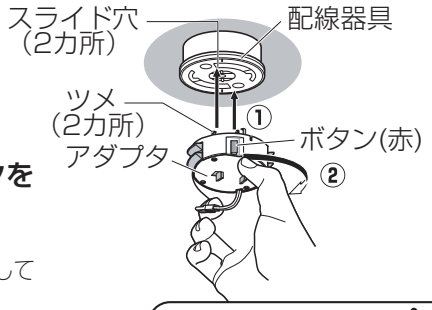
引掛埋込ローゼット（ハンガー付）　引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

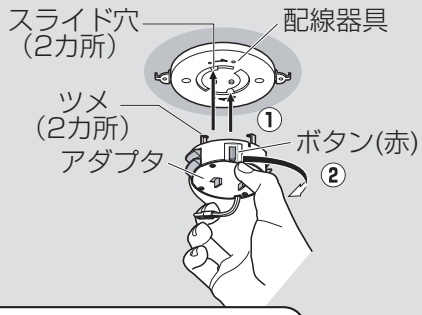
2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

① 位置を合わせる。
アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる。

② **カチッ**と音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

確認　ボタン（赤）を押さずに左に回して外れないことを確認する。



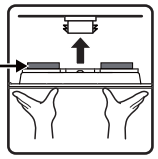


⚠ 警告

アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける。

※スポンジ側を天井に向けて取り付けを行ってください。

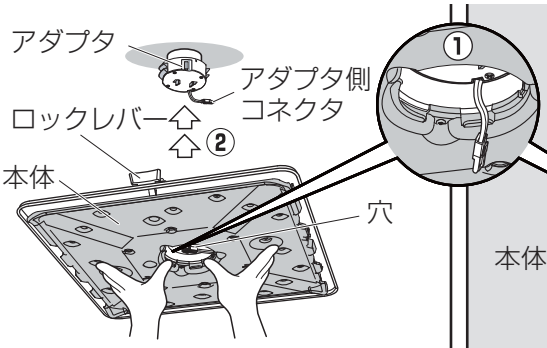


①本体中央の穴にアダプタ側コネクタを通す。

②本体をアダプタに合わせて押し上げる。

③アダプタのツメ(緑)が見えてツマミが矢印の位置にあることを確認してください。

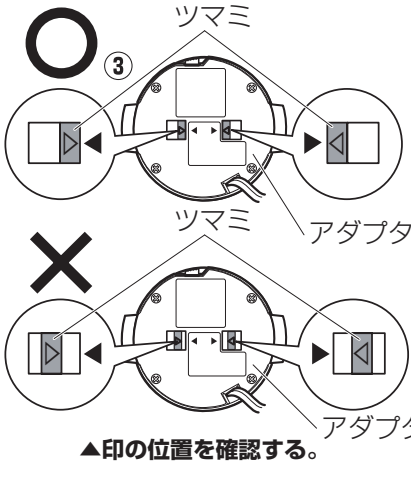
※配線器具により本体の取付位置が異なります。
下記を参考に押し上げてください。



カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる。

カチッと1度、音がするまで押し上げる。

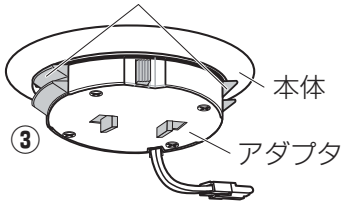
下から見た図



▲印の位置を確認する。

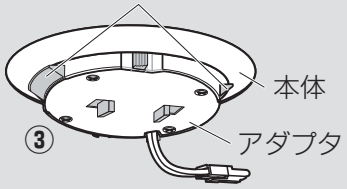
アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ（緑）が両方見える。



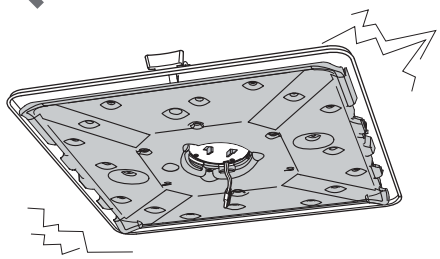
アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ（緑）が両方見える。

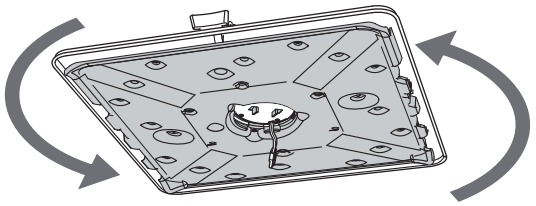


4 本体が正しく取り付けられているか確認する。

本体がグラグラする

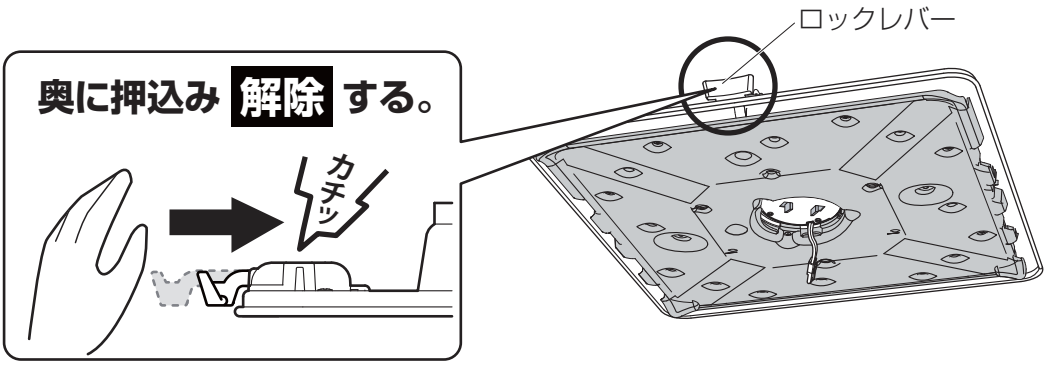


本体が簡単に回転する



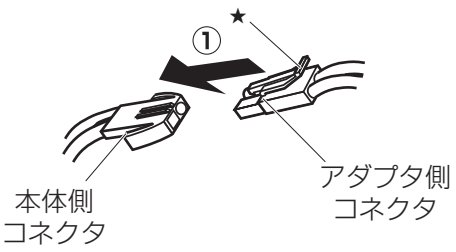
上図の場合、正しく取付けされていないので手順 **3** を再度行なってください。

5 ロックレバーが解除されている ことを確認する。

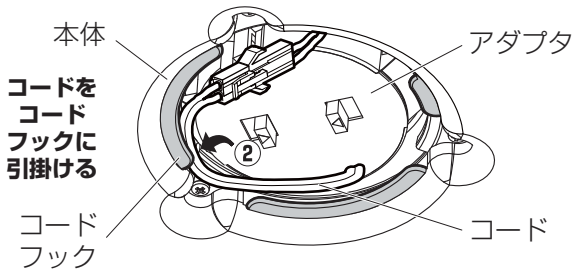


6 コネクタを接続する。

① アダプタ側コネクタを本体側 コネクタに確実に差し込む。



② アダプタのコードを本体の コードフックに引掛ける。



確認 ★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

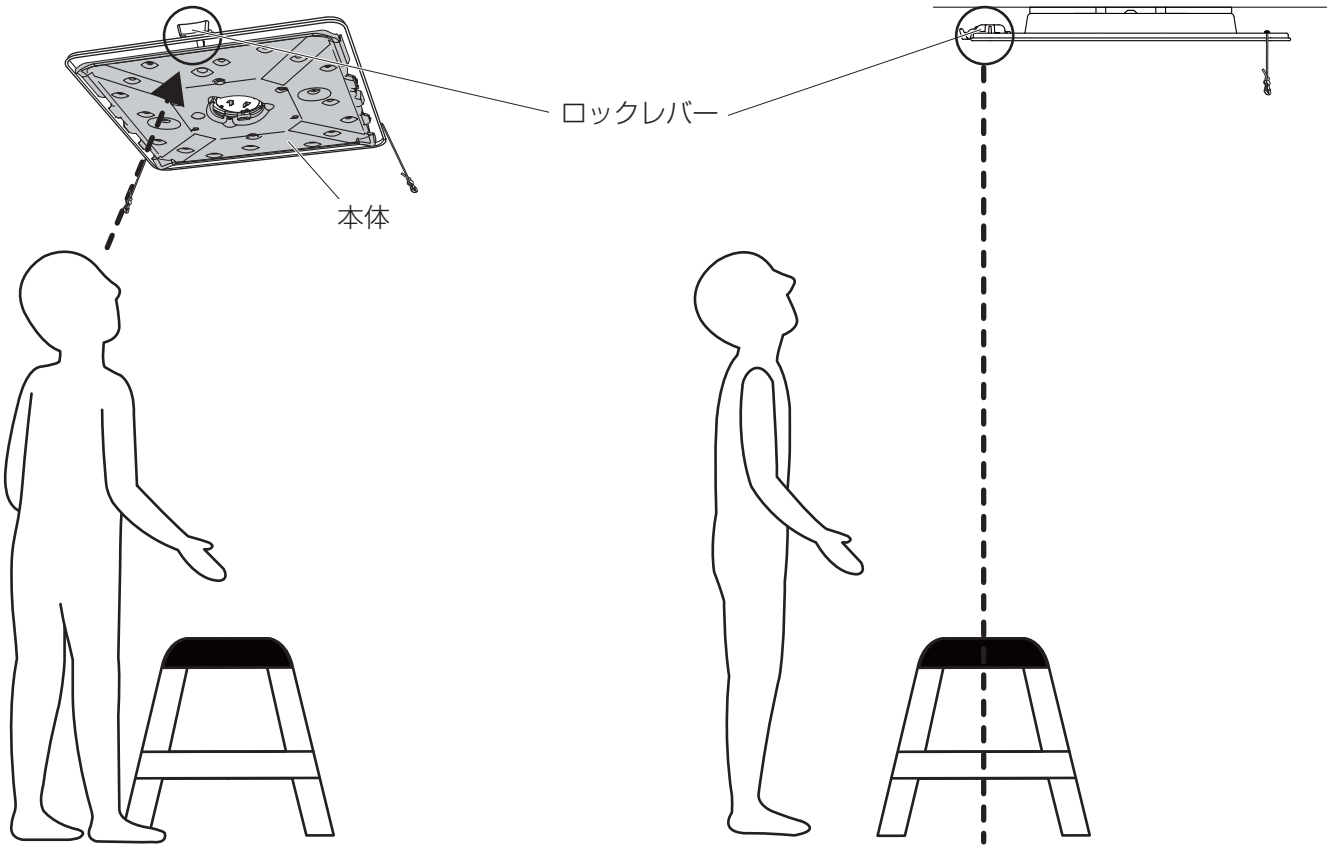
⚠ 警告

本体取付後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

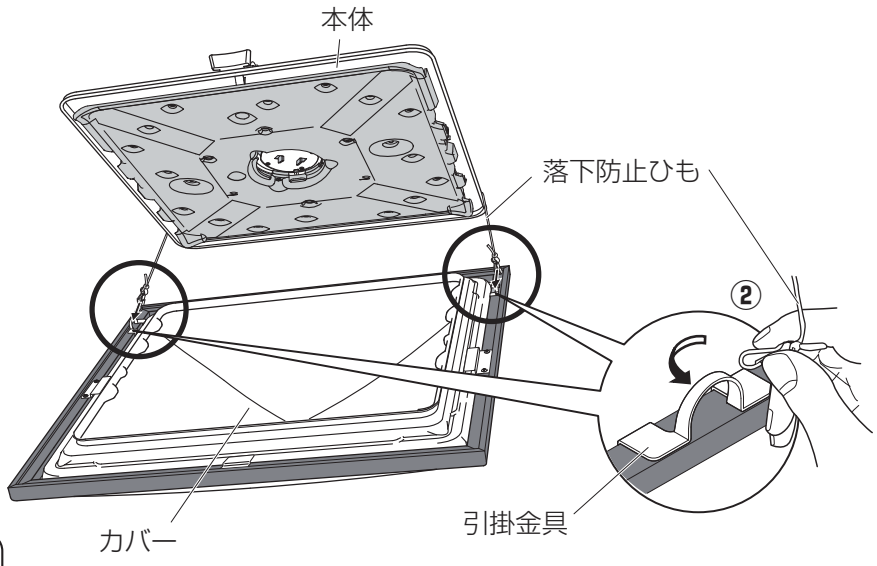
7 カバーを取り付ける。

① 本体のロックレバーを正面にして
ロックレバーの真下で作業をおこなう。

確認 カバーには方向性
（取り付ける向き）があります。
下図を確認してください。



② 本体の落下防止ひもをカバーの
引掛金具に取付ける。（2ヶ所）



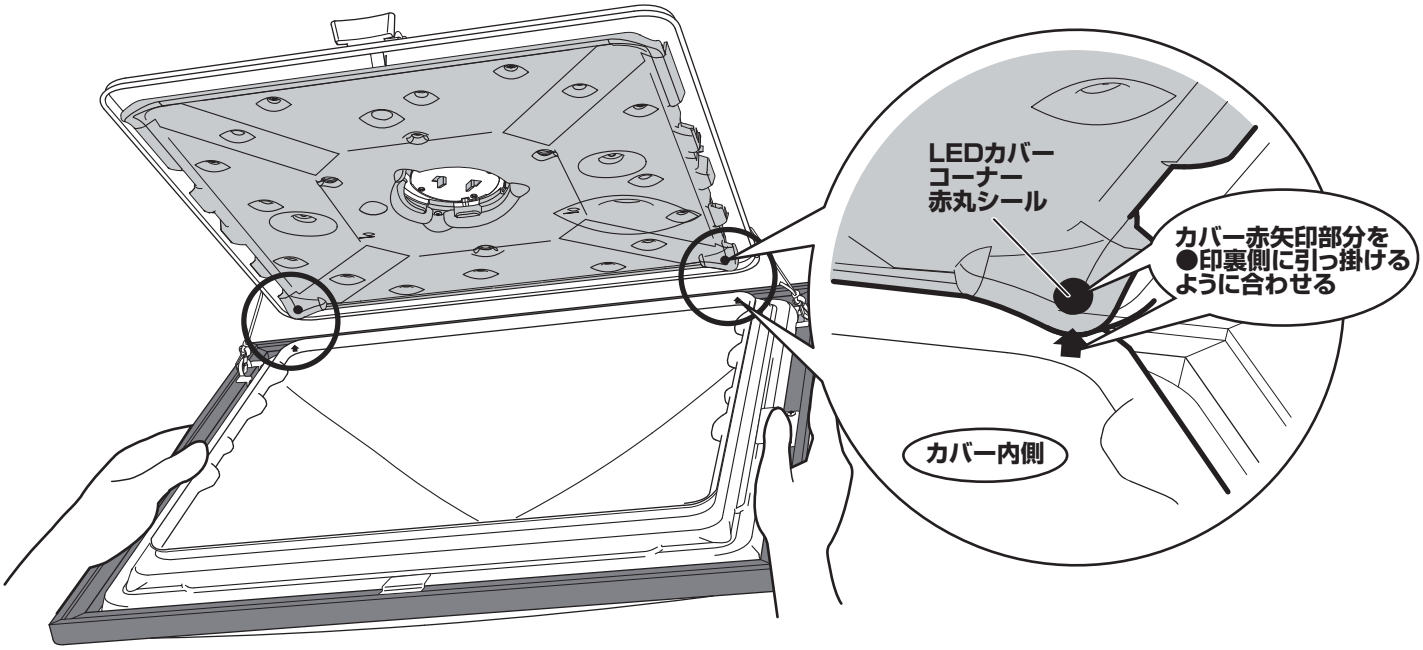
⚠ 警告

**落下防止ひもは必ず
取り付けてください。**

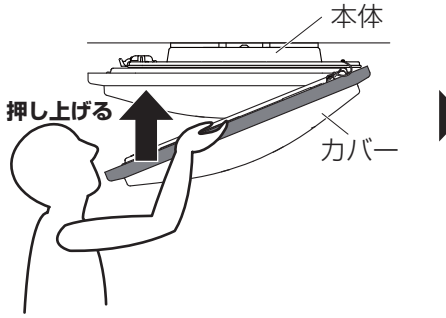
落下してけがのおそれがあります。

③コーナーの赤丸シール部分の裏側にカバーの赤矢印シール部分を引っ掛けるようにカバーの位置を合わせる。

確認 カバー取付時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。3ページの手順 **3** に戻って本体の取付を確認してください。

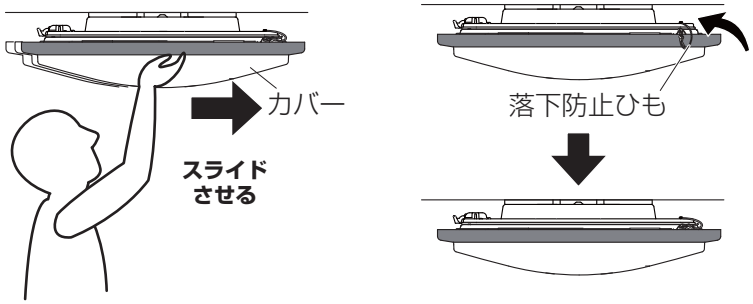


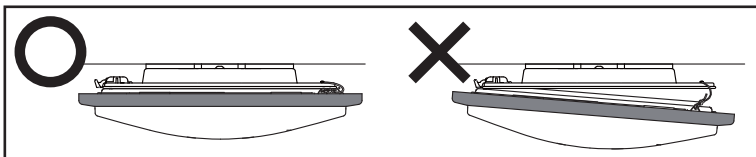
④カバーの手前を押し上げる。



⑤カバーを押し上げたまま矢印の方向にカバーが止まるまでスライドさせる。

確認 落下防止ひもが垂れ下がる場合は器具の上にのせてください。

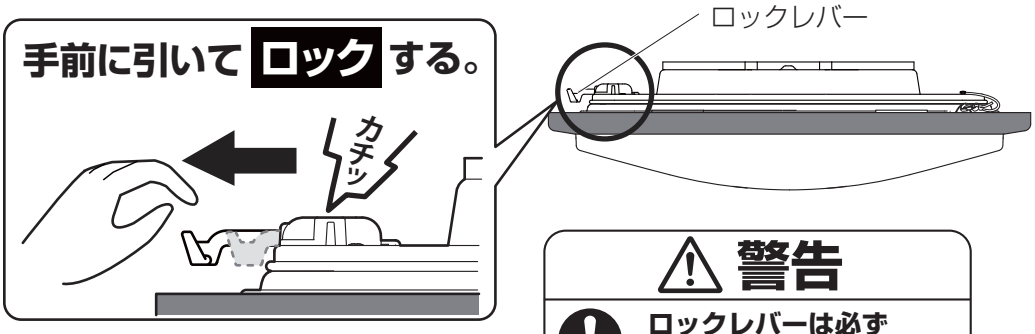




⚠警告

カバーが正しく取り付けられているか確認してください。
カバーの落下、破損によるけがの原因になります。

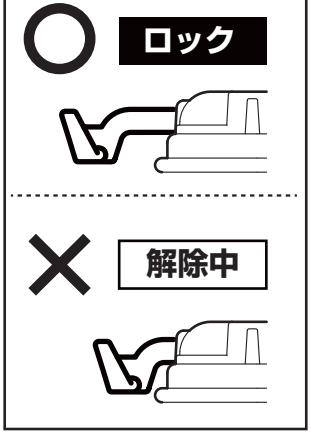
⑥ロックレバーを **カチッ** と音がするまで **手前にひき** ロックを掛ける。



⚠警告

ロックレバーは必ずロックの状態にする。
落下してけがのおそれがあります。

ロックレバーの状態

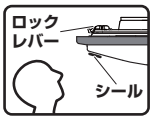


【照明器具を取り外す】

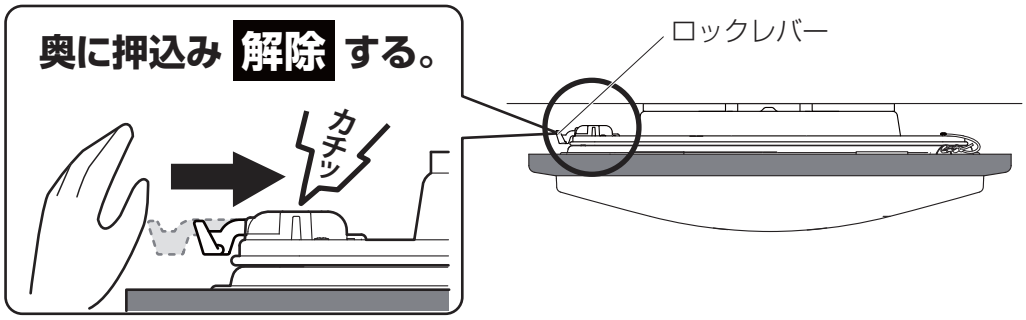
安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。
（一部姿図を省略しております。）

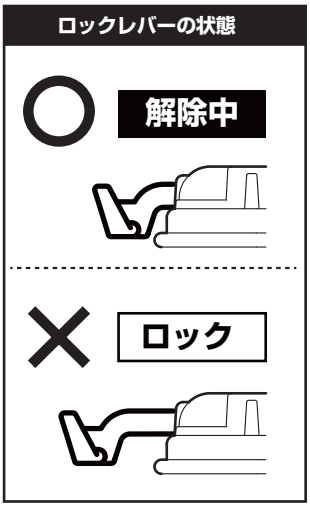
1 カバーを取り外す。

※本体のロックレバーの正面側（カバーのシールの正面側）に立ち作業を行ってください。

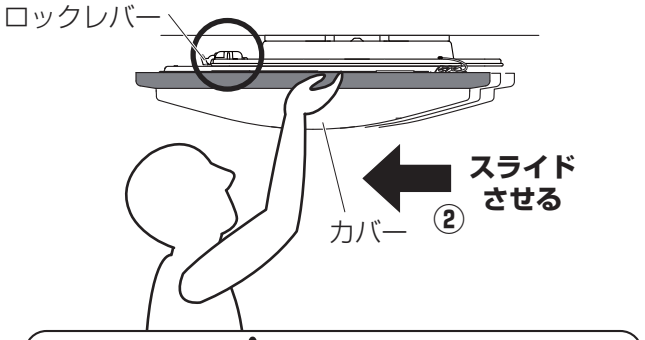


① ロックレバーを **カチッ** と音がするまで
奥に押し込み ロックを解除する。





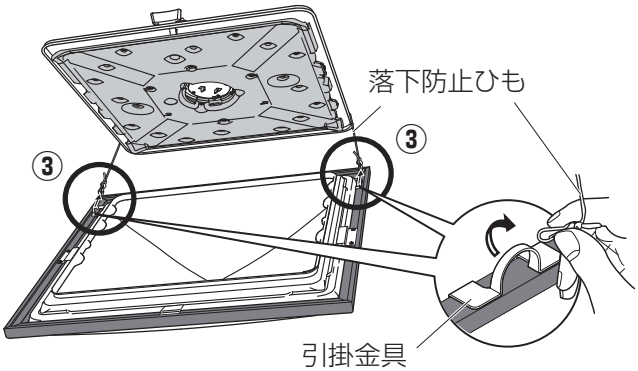
② カバーをロックレバーのある方向に
向けてスライドさせる。



⚠ 警告

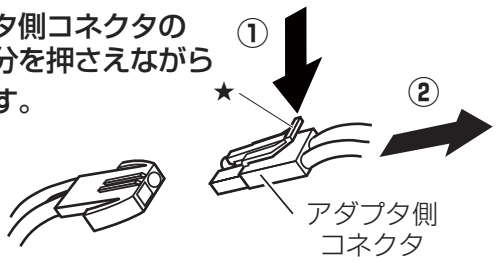
カバーが落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

③ 落下防止ひもを引掛金具から取り外す。（2ヶ所）



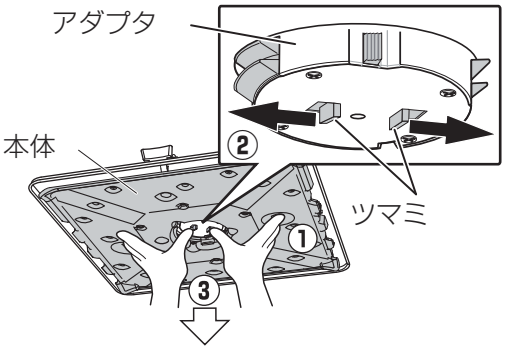
2 コネクタを外す。

① アダプタ側コネクタの
★の部分を押さえながら
② 取り外す。



3 本体を取り外す。

① 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
② アダプタのツマミを矢印方向へ引く。
③ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



⚠ 警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

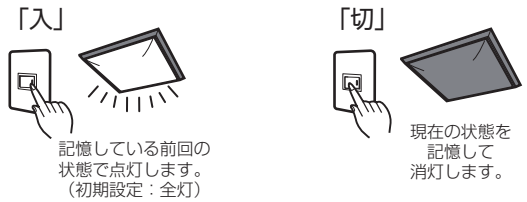
4 アダプタを外す。

① ボタン(赤)を押しながら
② 左に回して外す。

【あかりをつける・消す】

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

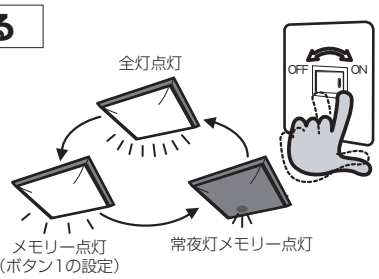


●ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタン1に記憶した「明るさと色あい」で点灯します。

●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く
（約3秒以内に）
ＯＦＦ⇔ＯＮと
切り替えると次の順に
点灯状態が切替ります。



●初期設定はメモリーボタン1、ボタン2共に（明るさ：100%　色あい：昼白色4500K）の状態で記憶されています。

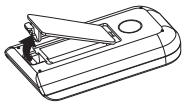
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

【リモコンについて】

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

① 裏側のカバーをはずす。



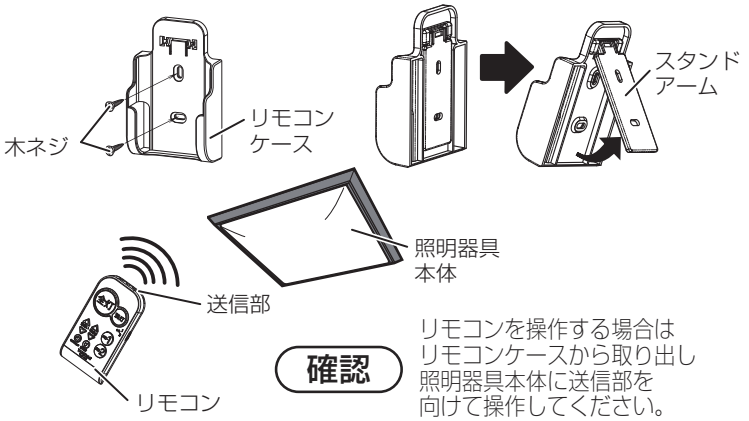
② 電池の ⊕⊖ を正しく入れる。

③ カバーを取り付ける。

●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
●交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
●長期間使わないときは、電池を取り出してください。
（液漏れによる故障防止）

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合　**テーブルなどに置いて使用する場合**



確認

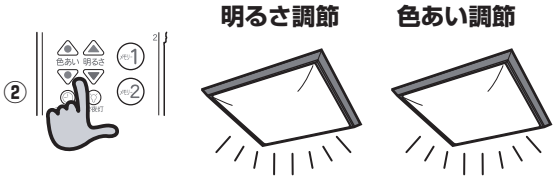
リモコンを操作する場合は
リモコンケースから取り出し
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。

点灯状態を調節し記憶させる

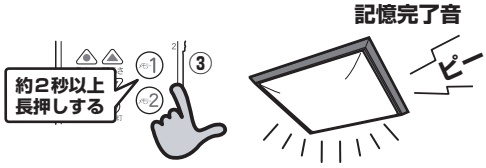
リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みの明るさ、色あいを記憶することができます。

① 照明器具を点灯させる。

② リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押して
お好みの明るさと色あいに調節する。



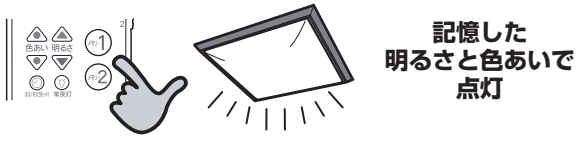
③ お好みの明るさに調節後、その状態で
リモコンの「メモリー1ボタン」または
「メモリー2ボタン」を長押しして
明るさと色あいを記憶する。



（例）メモリー1ボタンは電球色に記憶
メモリー2ボタンは昼光色に記憶

●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

④ リモコンの「メモリー1ボタン」または
「メモリー2ボタン」を押すと③で
記憶された明るさと色あいで点灯します。



●常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。
●初期設定はボタン1、ボタン2共に
（明るさ：100%色あい：昼白色4500K）の状態で記憶されています。

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて　**※リモコンなどの付属部品は1年保証です。（乾電池を除く）**

全灯ボタン

１００%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
ボタンを長押し（3秒以上）で操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒（10ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

調色ボタン

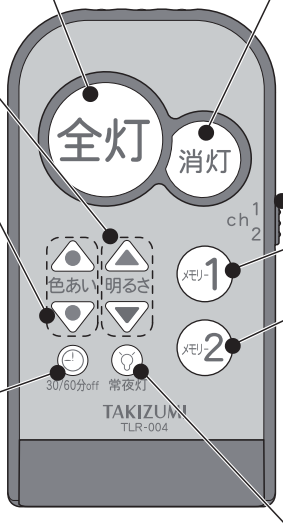
色あいを調色します。
調色範囲：昼光色6500K～電球色2700K※まで

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと’ピー’とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

押すごとに下記の動作を繰り返します

60分後消灯（「ピッピッピッ」と音がする）→ 30分後消灯（「ピッピッ」と音がする）→ 60分後消灯



消灯ボタン

消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（10ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

メモリー点灯ボタン1

メモリー点灯ボタン2

メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。
ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定　ボタン1、ボタン2共に
（明るさ：100%　色あい：昼白色4500K※）
⇒（8ページの点灯状態を調節し記憶させるを参照）

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。
●常夜灯は調色できません。
調光範囲：明暗上下5段階
⇒初期設定：最大の明るさ（5段目）
※K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

【故障かな？と思ったら】　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがＯＦＦになっている。	壁スイッチをＯＮにしてください。 **⇒8ページ・・・**
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	器具のコネクタを確実に接続してください。 **⇒4ページ・・・**
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 **⇒10ページ・・・**
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れてください。 **⇒8ページ・・・**
	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。 **⇒8ページ・・・**
勝手に消灯する。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分がセットされている。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分を解除してください。 **⇒9ページ・・・**
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	壁スイッチをOFFにしてください。 **⇒8ページ・・・** リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯状態を切り替えてください。 **⇒8ページ・・・**

【リモコンの便利な使いかた】

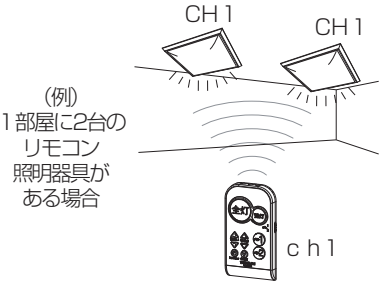
2台までの照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます。

チャンネル設定でできること

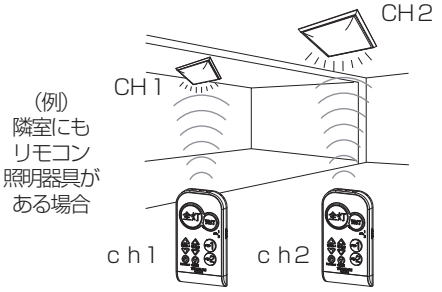
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで2台の照明器具本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

●2台の器具を同時に点灯できます。

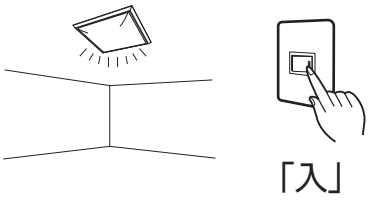


●2台の器具を別々に切り替えて操作できます。



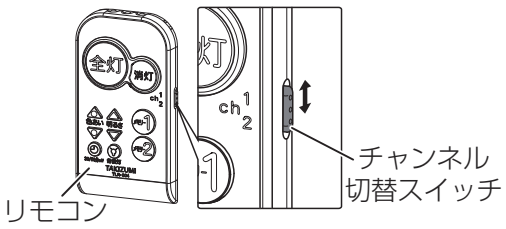
チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。

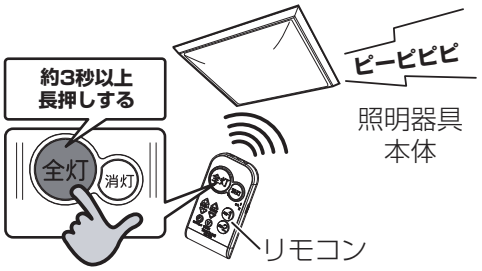


	照明器具本体を**ch2**に設定する場合	照明器具本体を**ch1**に設定する場合
	① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。	① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。

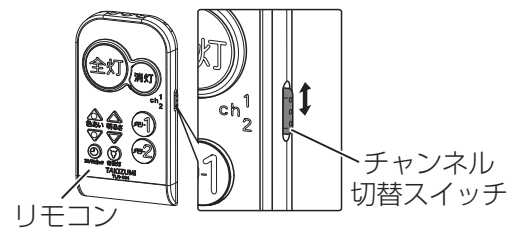
チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。	② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。



③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。 「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。	③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。 「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。



④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。 照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。	④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。 照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

【ご使用上に関するお知らせ】

【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

【お手入れについて】

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。
柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。
（水洗いはできません。）

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。
柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。
（水洗いはできません。）

●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。

※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。
(液漏れによる故障防止)

リモコン送信部

●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

【仕様】

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：50.4W　常夜灯：1.3W　待機時：1W以下	0.51A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。(本体、LED器具の点灯装置)　但し、カバーおよび付属部品は**1年間**です。
お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外(例えば業務用等や車両、船舶等に搭載)に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

Sample 【見本】

品番	**EX12040**	**保証期間** **(お買い上げ日から)** ※2015年7月1日以降お買い上げの商品が対象になります。	**本体、LED器具の点灯装置　：5年間** **カバー、付属部品など　：1年間**	**お買い上げ日**	**年　月　日**
お客様	**お名前** **ご住所　〒　　ー** **電話番号　(　　)　　ー**		**販売店名・住所・電話番号**		

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

【MEMO】

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-226-544

受付時間/月～金(土、日、祝日、を除く) 9:00～17:00

http://www.takizumi-denki.com/